

建設物価 建設資材物価指数[®] 2024年1月分 【速報】

建設物価 建設資材物価指数は、建設資材の総合的な価格動向を明らかにすることを目的に作成されており、その対象を建設工事で直接的に使用されている建設資材に限定した物価指数です。なお、本指数は2015年平均を100として算出しています。

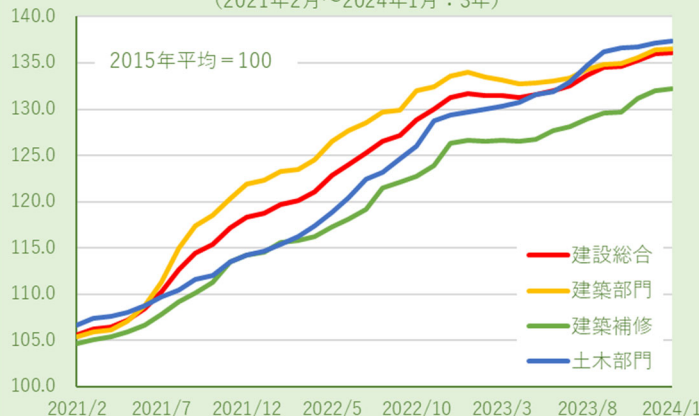
1. 指数の動向（全国平均）

1月の建設資材物価指数の動向は、**建設総合**(全国平均)が**136.1**となり、前月比+0.1ポイント(+0.1%)と9カ月連続で最高値を更新した。前年同月比では+4.4ポイント(+3.4%)となった。

部門別では、**建築部門**が**136.5**となり、前月比+0.1ポイント(+0.1%)と9カ月連続で最高値を更新した。前年同月比では+2.4ポイント(+1.8%)となった。**建築補修**が**132.2**となり、前月比+0.1ポイント(+0.1%)と9カ月連続で最高値を更新した。前年同月比では+5.5ポイント(+4.4%)となった。**土木部門**が**137.4**となり、前月比+0.2ポイント(+0.2%)と2020年5月以来45カ月連続で最高値を更新した。前年同月比では+7.8ポイント(+6.0%)となった。

建設資材物価指数【全国平均】

(2021年2月～2024年1月：3年)



2. 前月比寄与度（大分類別・全国平均）

プラス寄与

【窯業・土石製品】生コンクリート・セメント製品

一部都市で生コンやコンクリート製品の原料高や輸送費の上昇に伴う値上げが浸透、指数動向のプラスに寄与

【石油製品・舗装材料】燃料油

原油調達コストの値上がりを背景に、元売りが仕切り価格引き上げ上伸、指数動向のプラスに寄与

マイナス寄与

【紙・木製品】合板類

需要減少によるメーカー間の受注競争が激化し、全国的に下落、指数動向のマイナスに寄与

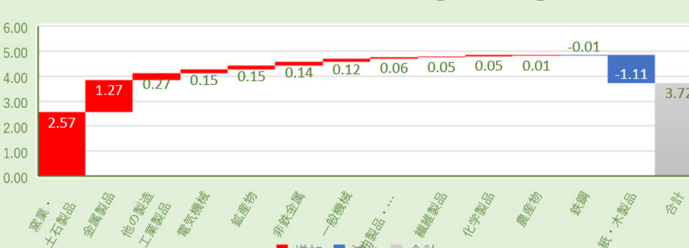
【鉄鋼】ステンレス鋼材

原料相場下落及び需要減少によるメーカー間の受注競争が激化し全国的に下落、指数動向のマイナスに寄与

建設総合 前月比寄与度【全国平均】



建設総合 前年同月比寄与度【全国平均】



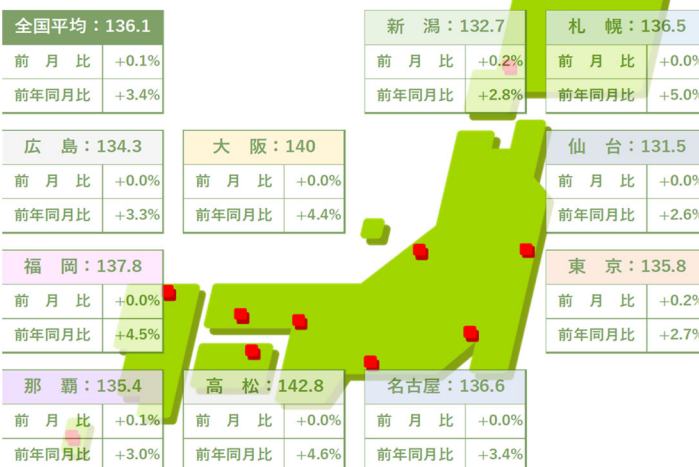
3. 都市別の動向（建設総合部門）

前月との比較では、全国的に合板類の価格下落がマイナスに寄与したものの、**【東京】**(前月比+0.2%)では、原材料高や輸送費の上昇を背景にコンクリートパイルの値上げが市場に浸透したことが指数動向のプラスに寄与した。

【新潟】(同+0.2%)では、セメントなど原材料価格の上昇を背景に協組が粘り強く交渉を続けた結果、生コンクリートの値上げが市場に浸透し、指数動向のプラスに寄与した。

【沖縄】(同+0.1%)では、燃料コスト増加や船員確保に伴う人件費上昇などを理由としたコンクリート用骨材の値上げ浸透がプラスに寄与した。また、燃料油やアスファルト混合物の値上げも指数動向のプラスに寄与した。

各地の建設総合部門の指数【1月分】



一般財団法人
建設物価調査会

【指数に関するお問合せ先】

総合研究所 経済研究課 担当：若澤

TEL：03-3663-7235 E-mail：econ@kensetu-bukka.or.jp

【資材価格に関するお問合せ先】

調査統括部 調査統括課

TEL：03-3663-3892 E-mail：toukatsu@kensetu-bukka.or.jp